

## 施策評価調書(30年度実績)

政策体系	施策名	スポーツによる地域の元気づくり	所管部局名	企画振興部	施策コード	Ⅲ-3-(3)
	政策名	スポーツの振興	関係部局名	企画振興部	長期総合計画頁	159

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	ラグビーワールドカップ2019の開催・成功	国際スポーツ大会等の誘致	スポーツ文化の定着と スポーツツーリズムの推進

### 【Ⅱ. 目標指標】

i	指 標	関連する 取組No.	基準値		30年度			元年度	6年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
	合宿等実施件数(件)	①②③	H26	1,165	1,500	1,376	91.7%	1,500	1,600					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

i	評価	理 由 等	平均評価
	概ね 達成	市町村と連携して合宿誘致の取組を進めた結果、合宿等実施件数は目標値を下回ったものの、合宿等参加人数は昨年度(55,503人)を上回り60,386人となり、地域の活性化に寄与した。	概ね 達成

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・ラグビーワールドカップ2019の機運醸成を図るイベントをOne Rugby, One Oita大作戦として実施し、大会開催を県内外に広く周知することができた。特に、日本代表対イタリア代表戦(来場者: 25,824人)では、多くの県民にラグビーの魅力を感じてもらおうとともに、大会本番に向けた交通輸送のシミュレーション等を行うことができた。
②	・海外代表チーム等のキャンプ誘致の結果、県内4市で6競技7種目のキャンプが8回実施され、3団体と東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプに関する協定書を締結した。また、参加チームから受入体制に好印象を得るとともに、トップレベルの選手との交流を通じ、スポーツ振興を図ることができた。
③	・プロスポーツチームと学校との交流事業の訪問先や子ども達から「プロ選手との交流は大変貴重な機会となった。」、「とても楽しかった。スポーツが好きになりました。試合の応援に行きたい。」といった感想が寄せられ、スポーツに親しむ機運の醸成が図られた。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	元年度の方向性	
①	ラグビーワールドカップ開催準備事業	552,633	A	継続・見直し	34
②	国際スポーツ大会誘致推進事業	48,240	A	継続・見直し	20
③	スポーツ交流地域活力創出事業	25,672	A	終了	32
	おおいたスポーツ成長産業化モデル事業	3,098	A	継続・見直し	33

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

○第10回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H31.2)  
 ・前回のイングランド大会では、シャトルバスの対応などボランティアの対応が実にきめ細かであった。欧米豪を取り込むにはボランティアの充実が重要であるため、是非、二度三度とボランティアの熟練を目指して取り組んでほしい。

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラグビーワールドカップ2019大分開催の成功のため、チケットの販売促進をはじめ、観戦客の円滑な輸送やファンゾーンの運営、ボランティアの育成等の取組を着実に実施するとともに、大会後のレガシー継承を見据えた来県国・地域との交流やラグビー普及の取組を行う。</li> <li>・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプの受入のため、協定を締結した県内市町村や競技団体と連携し受入体制を整備する。</li> <li>・より多くの県民のスポーツに親しむ機運を醸成するため、プロスポーツチームによる小学校や総合型地域スポーツクラブ、医療施設等への訪問や試合への招待を行い、プロスポーツ交流事業を実施する。</li> </ul>